

日曜礼拝クラス ダニエル書
「恐れるな、
① 神が国々を支配している」

クラス#1 1章~2章
2011年6月12日



概要

- テーマ:「恐れるな、神が国々を支配している」
- 構成: 黙示録的
(その他、黙示録的に書かれている書物＝エゼキエル書, 黙示録)
- 著者: ダニエル, その他の人物
(8:1 わたしダニエルは先にも幻を見た。)
(10:1 ベルテシャツアルと呼ばれるダニエルに一つの言葉が啓示された。)



概要

- 言語: ヘブライ語, アラム語
- 時期: BC605～530の間
- 対象:
 - ① アンティオコス4世エピファネス (BC167～164)の統治下で酷い迫害を受けたユダヤ人
 - ② 迫害を受けた1世紀のクリスチャン(ドミティアヌス皇帝の時代)



1. ダニエルの強い確信と勇気

ダニエル一章

- BC605 バビロニア王国ネブカドネザル王の第1次侵略(ユダ王国はヨヤキム王の時代)
- ダニエルはまだ若者であり、捕虜としてバビロニアの宮廷に仕えさせられる
- 急に祖国や家族から引き離され、誘惑とプレッシャーが多い異国に置かれる



1. ダニエルの強い確信と勇気

- ダニエルは命がけで神の道を選んだ
- 勇敢であった
- 妥協せず、誘惑に負けなかった
- 神の道に対して絶対的な確信があった
- ペルシア王キュロスの時代はBC530であったことから、ダニエルは60年以上仕えたことが分かる
- その一生をかけて確信を貫いた

Ⅱ. 王の夢＝巨大な像による歴史の予言

- 神は幻を通して語った
- ダニエルには特別な靈的な力があった
- この夢は人間の歴史だけではなく、神の国の到来を予言する

金の頭：バビロン（606-539 BC）

銀の胸と腕：ペルシャ・メディア
(539-331 BC)

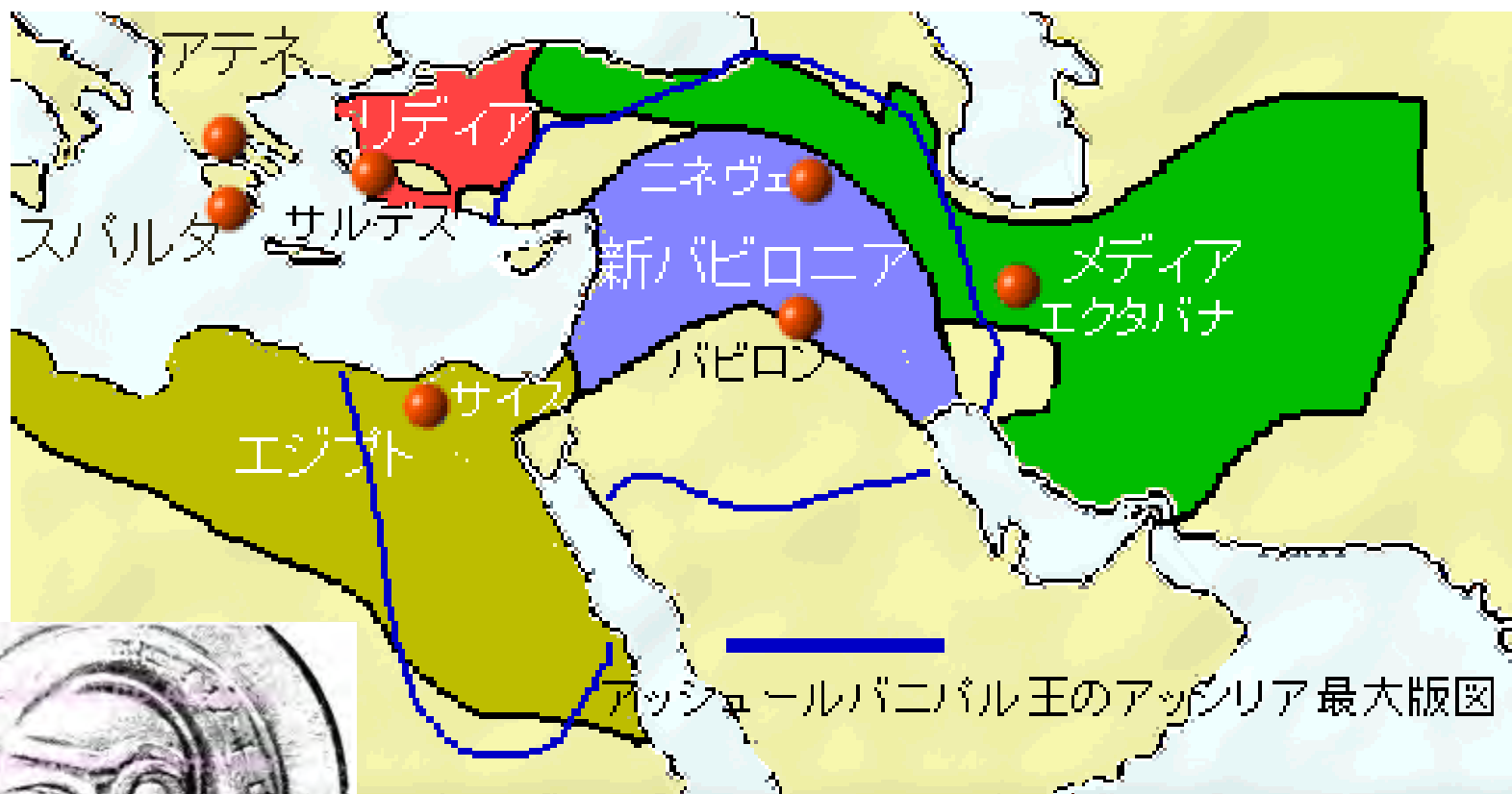
青銅の腹と腿：ギリシャ
(331-146 BC)

鉄と陶土のすねと足：ローマ
(西146BC-476AD)
(東146BC-1453AD)

人手によらず切り出された石
神の国（教会） 30AD～



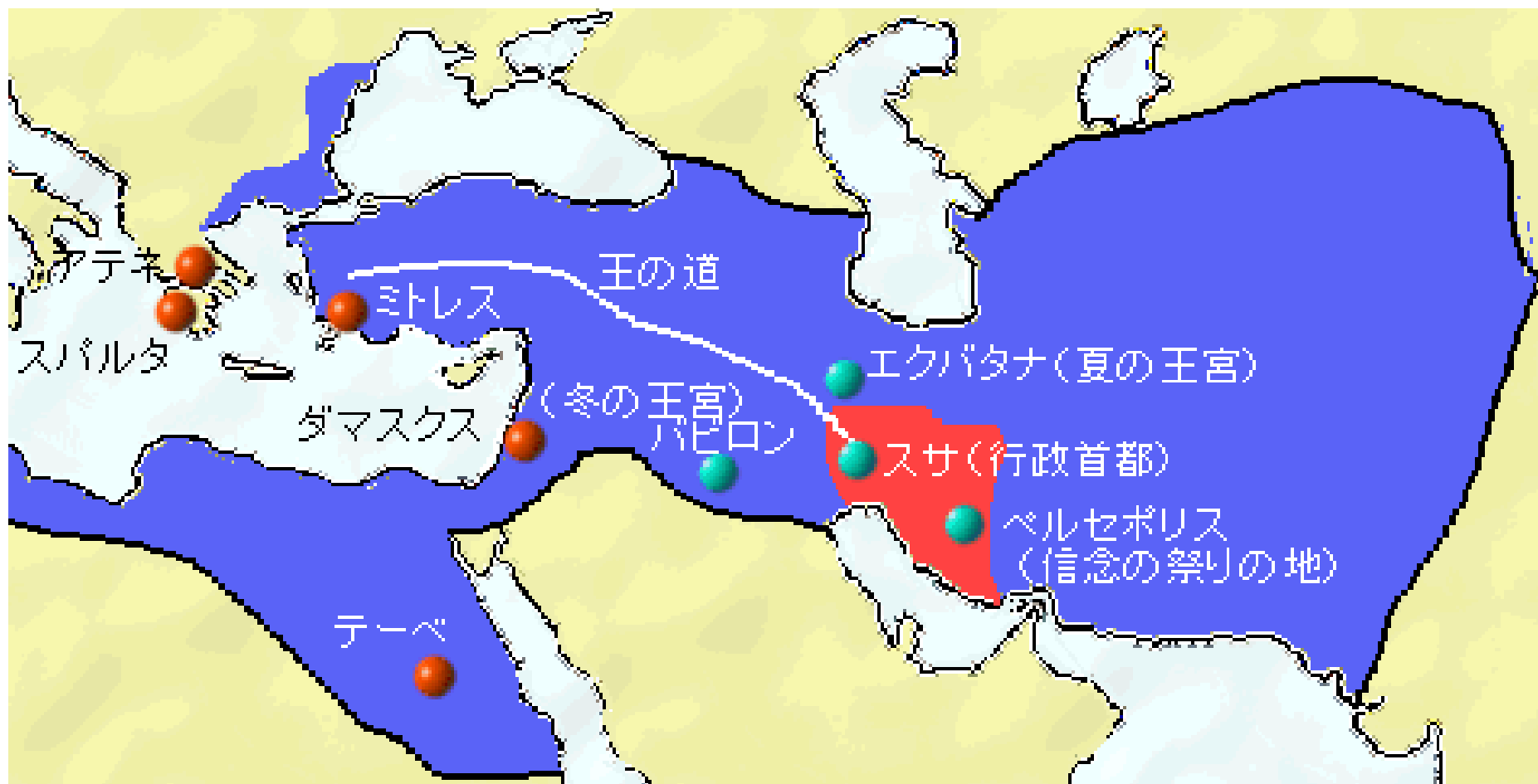
新バビロニア帝国



バビロンの架空庭園



ペルシャ・メディア王国



ギリシャ王国



ローマ帝国



ローマ帝国の分裂と滅亡



- ↑ ゲルマン人の大移動…ゲルマン人は集団で、どれい 奴隷・かちく 家畜を連れ、戦いながらローマ帝国領内に大移動を行った。



エドワード・ギボン

(1737年～1794年)

『ローマ帝国衰亡史』

「テオドシウス大帝の死後、その長子次子が東西両帝国の帝位に就く。**ここにローマ帝国は最終的に東西に分離する。」**

人手によらず切り出された石 教会

イザヤ2:2

「終わりの日に主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ちどの峰よりも高くそびえる。」

マタイ3:2「悔い改めよ。天の国は近づいた。」

使徒1:8

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

金の頭：バビロン（606-539 BC）

銀の胸と腕：ペルシャ・メディア
（539-331 BC）

青銅の腹と腿：ギリシャ
（331-146 BC）

鉄と陶土のすねと足：ローマ
（西146BC-476AD）
（東146BC-1453AD）

人手によらず切り出された石
神の国（教会） 30AD～



Ⅲ. ダニエルは友人を大切にする

- **ダニエル2:48-49**
- 成功、昇進、財産よって高慢にならなかつた
- 友人を大切にした
- ダニエルの高潔な心が見える



**恐れな、
神が国々を支配している**